

研究課題名	重症外傷に対する病院前-病着時の生理学的評価(RTS)からみた都市型ドクターカー介入の有用性
研究実施機関名および研究責任者	さいたま赤十字病院高度救命救急センター 専攻医 市川 遊理
研究代表施設および研究代表者	さいたま赤十字病院高度救命救急センター 専攻医 市川 遊理
研究期間	研究承認日から 2025 年 3 月 31 日まで
研究の目的と意義	現在の外傷診療による予測生存率評価 (TRISS) は病着時の生理学的評価(RTS)を含めて算出される。近年ドクターカー(DC)の外傷に対する予後改善効果が報告されているが、その要因はよくわかっていない。今回当院の DC 介入による RTS の改善効果を調査する 31日
本研究の対象となる方	2019 年 1 月から 2022 年 12 月までに当院に救急搬送された JTDB に登録された外傷患者の方
提供していただく情報	年齢、性別、受傷機転、バイタル、救急活動時刻、外傷部位、輸液量など
研究内容	介入・侵襲を伴わない後ろ向き観察研究
個人情報の取り扱い	研究実施に関わる情報を取り扱う際にはあらかじめ患者の個人情報とは無関係な番号を付して情報を管理する。患者の個人情報が院外に漏れないように十分配慮する。
問い合わせ先 (拒否等の受付窓口)	【研究担当者】 所属：さいたま赤十字病院高度救命救急センター 氏名： 市川 遊理 住所：埼玉県さいたま市中央区新都心 1 番地 5 電話：048-852-1111 モバイル番号：41875